



訪問活動について

犬山市には、市からの辞令を受け、秘書企画課に所属して活動している『職犬』がいることをご存知ですか？

職犬は、犬山市から依頼を受け、市内にある保育園や老人福祉施設などで訪問活動を行っています。

当院では、その職犬達と一緒にAAA・AAEの活動を15年間取り組んでいます。



AAA・AAEとは・・・

(AAA) Animal Assisted Activity = 動物介在活動

治療効果を目的としないで、しっかりとしつけをされた動物と一緒に老人福祉施設や児童福祉施設などに訪問する活動。

動物と触れ合うことによって、感情の調整や意欲向上・ストレスの軽減などを精神的に回復させる効果があると言われています。

(AAE) Animal Assisted Education = 動物介在教育

獣医師などが協力して保育園に行き、子供たちが動物と一緒に触れ合うことによって命の大切さや、人との身体の違いなどを学んでもらう活動。

その他にも・・・

(AAT) Animal Assisted Therapy = 動物介在療法

人間の医療現場で専門的な治療目的として動物を介在させた補助療法。主に人の病院で行われていて1つの症例に対して行われている活動。

当院の職犬達をご紹介します

現役職犬4代目
『ココ』



職犬見習い『おとひめ』

元気いっぱいな女の子！
先輩のような職犬になれるように
日々トレーニング中です。

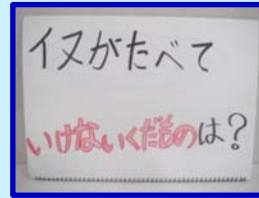
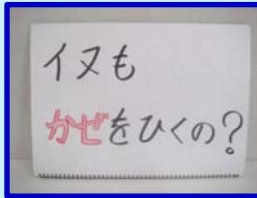


左側：初代職犬『パトラ』
右側：3代目『レイ』

訪問先の保育園で行っている活動内容

どうぶつに関するクイズ

犬と人の身体の違いについてや、犬が食べてもいいもの・いけないものなどを、クイズを通して楽しみながら学んでもらっています。



犬達の芸

フラフープの輪の中をジャンプでくぐる芸や、置いてあるものを持ってきてもらう芸などをします。園児に号令をかけてもらったり、一緒に遊びながら犬の身体能力を実際に見てもらっています。



ふれあい

実際にふれあう前に正しい触り方の説明をしています。

- ①急に触ると犬がびっくりしてしまうので、必ず触る前には、『触ってもいいですか?』と聞くこと。
- ②犬の触ってもいいところと、いけないところを知ってもらいます。
- ③犬は人と比べると耳がいい動物です。大きな声を出すと犬が驚いてしまうため、犬の近くでは大きな声を出さないこと。
また、犬は走るものを追いかけてたくなる本能があるため、犬の近くでは走り回らないこと。



保育園の先生と一緒に、正しい触り方を守って実際にふれあってもらっています。

訪問先では、たくさんのおともたちの笑顔に出会うことができます。犬とふれあったことのないおともたちも、初めは緊張気味だったが勇気を出して触った後には『触れた!』と、言っても嬉しそうにしています。今後も訪問活動を通して、子供たちに命の大切さを教えるとともに、地域との関わりを大切にしていきたいです。